

施策	7201 愛着と誇りの醸成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	市民一人ひとりが栃木市に住んで良かったと実感し、栃木市に愛着と誇りを持って住み続けることが出来るようにするような事業の推進を図る。							
成果指標	市PR冊子設置箇所数・・・300箇所 市サポーター数・・・100人 とち介市内派遣数・・・550回							
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [ 箇所 ]	予定	150.00	180.00	230.00	260.00	300.00	
		実績	155.00	480.00	580.00			
	成果指標2 [ 人 ]	予定	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	
		実績	38.00	51.00	87.00			
		単位コスト	497.53	598.88	310.92			
	成果指標3 [ 回 ]	予定	460.00	480.00	520.00	540.00	550.00	
		実績	472.00	148.00	107.00			
		単位コスト	40.06	206.37	252.80			
	成果指標4 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	19,810	31,854	27,050	0	0	
実績		18,906	30,543	27,050	0	0		
内 部 評 価	貢献度	基本施策が目指す、市民が本市の魅力を知り住んで良かったと実感してもらうために、本施策の貢献度は高い。						
	達成状況	感染症の影響により市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣業務が減少したため成果指標が未達となったが、その他の指標については年度目標を達成している。						
	課題	より多くの市民に本市の魅力を知ってもらうように広報活動の充実を図る必要がある。一部社会情勢や事業内容と合っていない指標もあるため、見直しが必要である。						
	取組方針	本施策が目指す、市民が本市の魅力を知り住んで良かったと実感してもらうように、有効な情報発信をしながら、市民参画の本市プロモーションの推進を図りたい。						
外 部 評 価								
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	736201	シティプロモーション事業費				12,815	100	
	790901	市民憲章制定記念事業費				2,868	100	

## 単位施策評価表 補表

施策	7201 愛着と誇りの醸成		
区分	妥当性	妥当	本市のPRを行うことで市民の郷土愛を育めることから妥当であると考え
	コスト削減の余地	有	下位事務事業についてコスト削減の余地はあると考え
	受益者負担	適正	受益者負担は適正であると考え
	上位貢献度	有効	上位基本施策への貢献度は高く施策は有効であると考え
	類似事業の有無	無	類似事業はない
	成果向上の余地	有	成果の向上の余地は十分あると考え
内部評価	貢献度	基本施策が目指す、市民が本市の魅力を知り住んでよかったと実感してもらうために、本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	感染症の影響により市の公式マスコットキャラクター「とち介」の派遣業務は減少しているが、シティプロモーション用動画の放映や冊子の設置等による成果目標は順調に推移している。しかしながら、下位の事務事業の目標との整合性や新たな事業の掘り起こしを検証する必要があると思われる。	
	課題	本施策の各指標は概ね順調に推移しているが、制作したシティプロモーション動画や冊子等は市内外ともにまだまだ認知されていない状況にある。有効な情報発信を検討するとともに、今後の社会情勢に応じた事業の見直しが求められる。	
	取組方針	これまで市外に向けたプロモーションに注力してきた傾向があるが、市民に向けても市の魅力の再認識や新たな魅力の発見となるような有効な情報の発信を充実させ、SNSなど市民参画による本市プロモーションの推進を図っていく。	